

目指す姿

暮らしやすさと働きやすさが調和し、人が“つどう”まち

基本方針・目標

目標1 利便性が高い交通環境の構築

快適な暮らしや活発な企業活動を支えるために、生活や仕事などの拠点となる駅周辺の利便性を向上させるとともに、持続可能かつ便利で使いやすい交通ネットワークの構築を目指します。

【課題】

- ◆ 尼崎市の強みをさらに伸ばす交通利便性の向上
- ◆ 持続可能な市内交通体系の構築
- ◆ 移動環境、産業活動を支えるための交通の基盤整備

目標2 誰もが安全・安心・快適に移動できる環境の創出

環境に配慮した交通への転換や少子高齢化社会への対応を進め、すべての人が安全・安心に移動できる交通環境の実現を目指します。

【課題】

- ◆ 安全・安心・快適な移動環境の構築
- ◆ 定住・転入を促進する交通・まちづくり
- ◆ 高齢化に対応した交通環境の構築
- ◆ 地球環境にやさしい交通の構築

目標3 交通と連携した魅力を伸ばすまちづくりの推進

観光資源への交通アクセスの向上、駅周辺のまちづくり、駅前空間の魅力向上に取り組むことで、交通による賑わい・魅力あるまちづくりを目指します。

【課題】

- ◆ 来訪・交流を促進する交通・まちづくり

施策・事業

1-1.鉄道の利便性向上

駅舎の利便性向上、高架下の空間活用・駅ナカのサービス機能向上、武庫川周辺阪急新駅設置

1-2.持続可能な公共交通の構築

バス路線再編、わかりやすいバス情報・充実、担い手確保(ドライバー等)、財源確保(企業版ふるさと納税等)、AI オンデマンド型交通導入検討

1-3.自転車のまちづくりの推進

シェアサイクル(ポート増設等)、自転車ネットワーク整備、駐輪場充実・有効活用、放置自転車対策

1-4.都市活動を支える交通基盤整備

都市計画道路の整備、橋りょう等の更新・耐震化、駅舎・バス停の維持管理、交通結節点の再構築、従業員送迎バス対策

1-5.臨海部の交通円滑化・環境改善

自家用車通勤のバス・自転車等への転換促進、荷待ち車両対策、心頭間道路の検討

2-1.安全・安心に移動できる交通インフラの整備

駅周辺のバリアフリー化、踏切安全対策、歩道の段差解消・街路樹の適性管理

2-2.安心して子育てできる交通環境の充実

通学路安全対策(学校等周辺の通行環境改善)、ゾーン 30・ゾーン 30 プラスの整備促進・周知強化

2-3.すべての人にやさしい公共交通の構築

高齢者・障がい者移動助成、バス待ち環境改善(安全・快適)、わかりやすい案内表示(多言語・ピクトグラム化)、交通従事者への高齢者・障がい者等に関する意識啓発

2-4.環境に配慮した交通への転換

EV・FCV 普及、駅舎等の環境負荷低減(ZEB 化)、市民への EV カー利用啓発、公共交通利用促進、カーシェア利用促進、シェアサイクル利用促進、サイクルアンドバスライド普及促進

2-5.交通ルールを守り、安全・安心に移動できる社会の実現

自転車ネットワーク整備、カラー舗装・横断歩道・区画線・ゾーン 30 プラス整備促進・周知強化、交通安全教育、ナッジの活用、歩きスマホ対策、ヘルメット着用推進

3-1.阪神尼崎駅周辺のまちづくりとの連携

阪神尼崎～大物エリアの周遊促進(観光資源を巡るまち歩き企画、情報発信等)、新モビリティステーションの整備検討

3-2.駅前空間の魅力向上とにぎわい創出

駅前広場等の改良・利活用促進、ペDESTリアンデッキの活用、ウォークアブル、公共空間活用、駐輪場建替え(更新、機能強化)

3-3.観光資源への周遊性向上

路線バス・シェアサイクルの活用促進、観光タクシーの導入検討、あま咲きコインの活用、電動キックボード等

3-4.観光面での臨海部の交通アクセス向上

パークアンドシェアサイクルの推進、万博×関西 MaaS の連携・活用、万博会場外駐車場の活用検討